

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年03月17日

計画の名称	駅周辺の拠点地域における安全で快適なまちづくり												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	春日井市												
計画の目標	<p>春日井市は名古屋市に隣接し、JR中央本線等都心部への交通手段にも恵まれていることから、土地区画整理事業により都市基盤整備が進められ、名古屋圏を代表する生活都市として発展してきた。また、市内では計画的な市街地整備を進めており、現在では市街化区域の75%を占める約3,500haについて、土地区画整理事業が完了及び施行中となっている。</p> <p>市の拠点であるJR春日井駅周辺では、自由通路等の整備により交通利便性の強化が図られているが、一方では駅に近いにも関わらず狭隘道路が存在し、道路や雨水排水施設が未整備の地域では浸水被害も発生している。このため、良好な住環境を確保するため、土地区画整理事業等により交通機能の確保と交通安全の向上を図るとともに、雨水調整池整備事業により防災性の向上を図ることで、拠点地域における安全で快適なまちづくりを推進する。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,746	A	2,399	B	0	C	347	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	12.63	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H30末)
1	区画整理地区内の人口を2,207人(H25)から2,317人(H30末)に増加させる。 区画整理地区内人口 春日井市経済振興課の統計による熊野桜佐土地区画整理地区内の人口	2207人	2262人	2317人
2	区画整理地区内の小学生が利用する通学路において、歩行者空間が車道と分離されている割合を28%(H25)から47%(H30末)まで増加させる。 小学校児童の通学路安全率 熊野桜佐土地区画整理地区内の小学生が利用する通学路において、歩行者空間が車道と分離されている割合(%)	28%	36%	47%
3	春日井市下水道基本計画の熊野排水区における雨水流出抑制施設(雨水調整池)の整備率を12%(H25)から72%(H30末)に増加させる。 雨水調整池整備率 春日井市下水道基本計画の熊野排水区における雨水調整池の整備率(%)	12%	12%	72%
4	春日井市下水道基本計画の熊野排水区における下水道による都市浸水対策達成率を4%(H29末)から5%(H30末)に増加させる。 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み延長(km)/浸水対策を実施すべき延長(km)	4%	%	5%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H26	H27	H28	H29	H30				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	春日井市	間接	組合	-	-	春日井熊野桜佐土地区画 整理事業	都市再生区画整理 A=92.7ha	春日井市						1,443		-	
												小計						1,443		
道路事業	A01-002	街路	一般	春日井市	間接	組合	区画	新設	春日井熊野桜佐土地区画 整理事業((都)桜佐歩 線外)	区画整理 A=92.7ha	春日井市						256		-	
												小計						256		
下水道事業	A07-003	下水道	一般	春日井市	直接	春日井市	管渠(雨水)	新設	熊野桜佐地区(浸水対策)	排水樋門 1基 5000mm他 L=0.5km	春日井市						700		-	
												小計						700		
										合計							2,399			

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	市街地	一般	春日井市	直接	春日井市	-	-	雨水調整池整備事業	V=25,000m3	春日井市						347	-	
		春日井熊野桜佐土地区画整理事業に併せ、地区内の雨水を貯留する調整池を整備することで、地区一体の防災性を向上する。																	
											小計						347		
											合計						347		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業に関わる全ての課（都市整備課、河川排水課、下水建設課）により、事後評価を実施した。	平成31年度
	公表の方法 春日井市のホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業が進捗しているが、保留地販売や使用収益の開始に至っていないため、人口増加にはつながらなかった。 ・土地区画整理事業により、歩道付き道路の建物移転等を進めているが、上部の歩道形態の整備が完了していないため、通学路の安全性向上には至らなかった。 ・1号調整池整備工事に着工したが、計画期間内に完成しなかったため、雨水調整池整備率の増加には至らなかった。 ・下水道整備により、都市浸水対策達成率が増加し、地域の防災性の向上に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き土地区画整理事業を進めていき、都市基盤整備による良好な住環境の形成を図るとともに、集合保留地周辺の整備を優先的に進めていくことにより、定着人口増加の効果発現に努めていく。 ・通学路としての利用が想定される道路について、優先的に地下埋設物の整備工事を進めていき、早期に歩道形態が完成するよう努めていく。 ・1号調整池整備工事については、予定通りに令和2年度しゅん工を目指して工事を進めていく。また、2号、3号調整池についても、当初予定の令和3年度しゅん工を目指して調整を進めていき、地域の防災性向上を図っていく。 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	指標（区画整理地区内人口）		
	最終目標値	2317人	この5年間に於いて集合保留地の販売を行う予定でしたが、事業の進捗に合わせてライフライン等の施行計画を改めて精査したところ、集合保留地の販売は第1期計画期間内に行うことができない結果となった。また、使用収益の停止により土地の売買等を制約していることから、人口が増える要素がなく、目標値の達成に至らなかった。第2期計画で継続的に土地区画整理事業を推進させていき、目標値の達成を目指す。
	最終実績値	2048人	
2	指標（小学校児童の通学路安全率）		
	最終目標値	47%	歩道付きの道路の整備について、支障となる建物移転を中心に進め、幅員は確保されているが、地下埋設物（雨水管、ガス、水道等）の整備が完了していない区間があり、上部の歩道形態の整備まで行うことができなかったため、目標値の達成に至らなかった。今後、雨水管や水道管等の埋設が完了すれば、歩道を含めた道路整備が可能となるため、通学路安全率の上昇が見込まれる。
	最終実績値	28%	
3	指標（雨水調整池整備率）		
	最終目標値	72%	雨水1号調整池整備工事を平成29年度から平成30年度の2カ年で実施する予定であったが、事前の文化財試掘調査により埋蔵文化財が発掘されたことに伴い着工が平成30年度からとなり、第1期計画期間内においては完成しなかったため、目標値の達成に至らなかった。今後も継続的に事業を実施していくことにより、雨水調整池整備率の上昇が見込まれる。
	最終実績値	12%	
4	指標（下水道による都市浸水対策達成率）		
	最終目標値	5%	目標値を達成。
	最終実績値	10%	